

子どもたちの声

- ・相手の目線に合わせて情報を伝えることは大切であると思った。自分たちが伝えなかったことを的確に指摘されたときに、流石池上先生だなあと思った。廃炉に関するものだけでなく、様々な視点から物事を捉えることの大切さについて改めて考えることができた。今後も私たちの故郷の福島の復興を見届けて行こうと思う。（高1男子）
- ・緊張したり大変なこともあったりしたけど、とてもいい経験になった。人に直接聞くことは大切だと思った。今回学んだことを生かし、今後の部活動や社会人になっても活用していきたい。（高1女子）
- ・最初は、参加するか悩んでいたが参加して良かったと思う。今回取材して分かったことや経験を、今後の活動に生かしていきたい。（高1男子）
- ・浜通りに住んでいて、震災を経験していても、知らないことが多くあると思った。OGOBの皆さんや記者の皆さんからの的確なアドバイスのおかげで良い新聞がくれた。小学生から高校生までの人で協力して作成することで、自分では思わないことや気付かないこともあり、刺激になった。（高2女子）
- ・震災のことを伝えていくのは大切なことだと思った。3日間、小学生・中学生と関わりながら活動ができ、とても楽しかった。もし、また参加できるならOGとして参加したいと思う。（高2女子）
- ・福島の復興のためにできることは、まだまだあるということが分かった。すごく大変だったけど楽しかった。また参加したい。（高2女子）
- ・書くスピードを速くしないとイケなかったから大変だった。編集は難しく、新聞を作ることは大変だなと思った。（中1女子）
- ・震災から10年たっても、まだ色々なところで避難生活をしている人がいると、あらためて実感した。また、震災は、この日本・東北・福島にとって、とても大きな痛手だったとも思った。今回、新聞作り、取材を通し、新聞がより身近になって、見方を変えられると良いと思う。（小5女子）
- ・私の家族も富岡や原発に関わっているのだから、取材の時にそのことを思って泣いてしまったが、今までで一番震災を知ることができた。（中3女子）
- ・編集作業は難しく、取材は大変だった。貴重な体験で、楽しかった。（中2男子）
- ・編集するときのルール（きまり）があって難しかったが、新聞のことが詳しく分かった。（読み方、書き方、きまり）最初は、緊張していたけれど、みんな優しく、新しい友達もできたのでよかった。（小6女子）
- ・震災を伝えていくことはとても大切なのだと思った。語り部の方から、たくさん話を聞いてよかった。また、相手に大事なことを伝えるために短く分かりやすい言葉でまとめることが大切だと分かった。また、大切なことが聞いてとても良い経験になった。（小5女子）